

令和元年度第2回法政策等フォーラム型実験小委員会議事概要

- I. 日 時：令和元年10月26日（土）10：00～12：00
II. 場 所：公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局
III. 出席者：中村主査、高嶋委員、佐渡友委員、菊池委員、井上委員、西貝委員
事務局：井端事務局長、中村

事務局より、議事録により前回の確認を行った後、検討を行い以下について確認した。

IV. 確認事項

1. 前回検討した「法政策等フォーラム型授業モデル」における以下の項目内容について振り返りと確認を行った。
「授業モデルの目標」、「授業で獲得する能力」、「授業の形態・方法」、「課題の選定」、「授業の位置付け」、「授業の進め方」、「チーム編成」、「実験授業の実施時期及び実施期間」、「授業の運営体制」、「実験授業の評価」
2. モデル授業の実施に必要な項目の具体的内容について検討を行い、以下のようにすすめることを決定した。
 - (1) 参加大学とチーム及びファシリテータ
 - ① チーム名参加大学とチーム及びファシリテータ
神奈川大学チーム： 中村チーム 25人（2年生）5人で5チーム
井上チーム 6人（2年生）1チーム
京都産業大学チーム： 高嶋チーム 25人（1年生）1チーム
ファシリテータ：教員3名
 - ② 学修プラットフォーム設置場所等の確認
設置場所、掲示板(URL)、ネットの管理責任者を決定した。
 - ③ プラットフォームの名称・構成の検討
名称：「法政策等フォーラム型学修プラットフォーム」
構成：掲示板、アンケート（検討する）、KJ法（コグルを貼り付け）
 - (2) 実験授業の実施スケジュールと運営
対面授業（1コマ～4コマ、6コマ）とネット学修を組み合わせ7コマの授業を編成して、以下の通り各コマにおける実施内容を設定した。
 - ・事前準備（オリエンテーション）
 - ・1コマ（課題認識）
 - ・2コマ（問題発見）
 - ・3コマ（問題洗い出し）
 - ・4コマ（解決策の探求）
 - ・5コマ（チーム間で中間発表・議論）
 - ・6コマ（解決策の省察）
 - ・7コマ（解決策の最終発表・評価）
 - (3) オリエンテーションの進め方
 - ① コーディネータによる実験授業の趣旨、獲得する能力（論理的思考力と批判的思考力、合理的判断力、発想・創造力）、7コマの進め方、プラットフォーム上での自己学修・チーム学修の学修方法、対面授業の進め方についてコンテンツを用意して、説明する。

② 学生の発言メールの使用について、参加学生から許諾を得ておく。

(4) コーディネータ、ファシリテータ等の打ち合わせ

- ① 実験授業の進捗状況を確認するため、オリエンテーション、中間発表、最終発表日の調整と最終評価に他大学教員、外部者有識者、市民を加えることを検討する。
- ② 中間発表、最終発表の方法について、同一日の設定又は掲示板ビデオ掲載などを用いる。

(5) ファシリテータで気をつけること

以下の点に配慮することを確認した。

- ・学びのスピードが遅くても、あえて考えさせて学ばせる機会をつくる。
- ・有識者からの質問、論点について教員が行わない。
- ・質問を投げかけることにより、問題を整理させ、明確にさせため5W1Hを使う。
- ・学生個人に考えをアウトプットさせる。
- ・努力への行動が少しでも改善したら学生に伝える。

(6) 有識者の選定

有識者の候補者について、承諾を得ることにした。

3. その他（次回開催日等）

メールにて委員の都合をうかがい、2月5日（水）14時に本協会事務局会議室で開催することとした。